

いとう 順一

The Democratic Party of Japan
民主党



<http://www.jito.jp>

宝塚生まれ **44才**

県民主権社会を宝塚から！！

あなたと出会えて本当に良かった！！

- いとう 順一 プロフィール**
- 1962年（昭和37年）7月宝塚市生まれ 血液型O型
 - めぐみ幼稚園、宝塚第一小学校、宝塚第一中学校、高司中学校（中学2年生時転居により転校）、県立宝塚高校、立命館大学 経営学部卒業
 - 1984年大蔵省税関に国家専門官として採用、尼崎税務署所長に配属
 - 1987年 大蔵省税関を退職し(有)阪神米油宝塚入社
 - (有)阪神米油宝塚 代表取締役
 - 座右の銘 忠恕知恥
 - 家族構成 妻・長男(小3)・次男(年長組)・三男(年少組)の5人家族

- 活動記録**
- 第3期阪神北地域ビジョン委員会 委員長（'06.12.15で退任）
 - FM宝塚番組審議委員（'06.12.15で退任）
 - 阪神北地域教育推進協議会 第二小委員会委員長（'04~'05）（在籍'02~'05）
 - 社団法人宝塚青年会議所 理事長（'98）（在籍'90~'02）
 - 東宝小学校 PTA会長（'05）
 - 宝塚市長選公開討論会を企画させる会 事務局長（'06）
 - 宝塚商工会議所議員
 - 宝塚ライオンズクラブ青少年育成委員長
 - 宝塚市商工観光実行委員 他
 - ☆兵庫県自治体議員（'02）

「宝塚・夏フェスタ」実行委員長
伊藤 順一さん(40)
—宝塚市



古里に新たな伝統作りたい

「よさこい踊り
盛り上げよう」

宝塚市生まれ。家業のガソリンスタンド「阪神米油宝塚」を経営。宝塚青年会議所は13年前にメンバーになり、98年には理事長を務めた。

今年も、3日1日続かれた宝塚市の新しい夏祭り「宝塚夏祭（宝塚夏フェスタ）」と「宝塚・夏フェスタ」。30年前開いた「宝塚夏祭」が今年もまた宝塚市を一新、花火大会とセットになり、よさこい踊りが取り入れられた。「市民が楽しめる祭り」を、自らつくり上げる本気の姿勢に驚かされた。「よさこい踊り」の魅力を、伊藤さんに聞いた。

第一回の宝塚夏祭りは10歳の時だった。「母が宝塚夏祭りを観りに、連れてかたかった。夏祭りが好きで、宝塚青年会議所メンバーとして、宝塚夏祭りに行った。

95年の阪神大震災、僕らは中になかったが、「よさこい踊り」の時から「よさこい踊り」の魅力を、伊藤さんに聞いた。

宝塚青年会議所の活動、初年度になった今年、いっばいで宝塚市を盛り上げる。「よさこい踊り」は宝塚の結束を強め、生まれ育った街を盛り上げていきたかった。今回、その魅力を発信したいなと思った。

宝塚てくてく 第208号 (一部・50円)



伊藤 順一さん

県行政と市民のパイプ役として市民が主体的にパートナーシップをもちながら、社会に参加できる仕組みを作ろうと、また行政に物申すというだけでなく、自ら行動する市民として、自分のまちはどうありたいかを考えようと、平成十三年にビジョン委員会ができた。

昨年四月には阪神北地域内四市一町から百人を超える参加で、第三期ビジョン委員会が発足し、委員長に伊藤順一さんが就任した。

伊藤さんは「自律的な市民の参画と協働を基本に新しい公の領域を築く」ということを理念におき委員たちの意見により次の四つの分野に分けた。

第一分野 多様で個性的なライフスタイルを育むことができる社会を作る

第二分野 自律と協働による温かいコミュニティを作る

第三分野 自然と豊かに調和した安全・安心な都市を作る

よい出会いをもとめて

伊藤さんはこのような活動があることを市民が知って、「自分たちのまちは自分たちでつくる」という考えを持つ人が多くなり、大きな輪となって広がっていくことを望んでいる。

任期は二期四年なので、来年三月で終えるが、「あなたと出会えて本当に良かった」と思える委員会になることを願っていると熱く語る。

第3期阪神北地域ビジョン委員会

委員長
長さん

民主党号外

私も推薦しています。



小沢 一郎 市村 浩一郎 辻 泰弘

いとう 順一とつくる会

住所 宝塚市迎瀬川12-6-2-2F
電話 0797-72-2130
FAX 0797-72-2131
E-Mail tukuru@jito.jp